

恒例の野菜苗・草花苗販売会 ～丹高生が丹精に育てた苗、いかがですか～

丹精した野菜苗を手に販売会をPRする
丹原高園芸科学科の生徒



丹原高 丹精の苗いかが

野菜19品種 18日販売会

西条市丹原町願連寺の丹原高校の生徒が、18日に校内の農場で野菜苗の販売会を開く。50年近く続く恒例のイベントで、生徒らは「心を込めて手入れしてきた。多くの人に育ててもらいたい」と来場を呼びかけている。苗は園芸科学科の2、3年生計39人が1月下旬から種をまき育ててきた。今回はトマトやキュウリ、カボチャなど19品種約1万2千鉢を用意した。1鉢の価格は実生苗が80円、接ぎ木苗は200円。マリーゴールドやペチュニアなど花木苗も販売する。15日は生徒が販売会に向け詰め作業に汗を流した。3年の伊藤紗也さん(17)は「発芽した苗をピンセットで一つ一つポットに植え替える作業が一番大変だった」と話し「ナスとピーマンがよく育っている」とおすすめ品をPRした。

販売会は18日午前8時45分から午後3時半まで。(清家康尊)

丹高は地域に近い学校です。

50年以上の歴史を持つ、地域と学校を結び付ける行事。地域の方からの評価は高く、生徒たちは、さらに農業学習に自信と誇りを持って取り組んでいます。



詳細はこちら

LOVESAIJO Instagram より